

◆ 令和5年度ごみ減量・資源化の状況について

○ 多摩市一般廃棄物処理基本計画（計画期間：令和5年度～令和14年度）における ごみ減量目標

- ① 排出量(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害性ごみ)を14%削減(家庭系・事業系とも令和5年度から毎年約1.5%前後の着実な減量が必要)
- ② 資源化率38.0%以上を目指す
- ③ 焼却残さを資源化し、埋立処分量0tを維持する

①令和5年度のごみ量は、基準年度の令和3年度比で6.1%減少し、一般廃棄物処理基本計画で掲げる目標（10年で14.3%減、計画期間1年目の令和5年度は1.3%減）を上回る結果となった。
 ②持込ごみ（事業系）は、令和5年度は前年度比3.2%減となり、引き続き減少傾向にある。
 平成28年度の手数料改定以降、事業系ごみについては減少傾向が続いている。コロナによる行動規制が緩和された後も減少傾向は続いている。
 引き続きしっかりと清掃工場での搬入物検査や排出事業所への訪問指導などに取り組む。
 ③収集ごみ（家庭系）については、令和5年度は前年度比で4.2%減、基準年度の令和3年度比で6.8%減となった。
 これは一般廃棄物処理基本計画で掲げる令和5年度目標1.6%減を上回る結果となっている。
 ④資源化率については、近年32～35%を推移しており、基準年度の令和3年度の34.0%に対し、令和5年度は32.0%となった。
 微減となっている原因としては、ごみ総量の減量に加え、コロナ禍の在宅活動で増えていた古紙類や古布の排出量が減少していることが要因である。
 ⑤埋立量については、清掃工場において不燃残渣（埋め立てごみ）から金属等を再度取り出しエコセメントの原料として全量を資源化することにより、平成27年度に0tとなり、以降は令和5年度を含め0tを継続し続けている。

1. 排出量の推移

区分	種類	令和3年度(基準年)		令和4年度		令和5年度				最終(令和14年度)目標値		
		量(t)	1人1日(g)	量(t)	1人1日(g)	量(t)	1人1日(g)	減量率*1	前年度比	量(t)	1人1日(g)	減量率*1
収集ごみ (家庭系)	可燃ごみ	21,684	401.6	21,224	393.1	20,368	376.2	▲ 6.3	▲ 4.3	17,432	337.0	▲ 16.1
	不燃ごみ	844	15.6	733	13.6	701	13.0	▲ 16.7	▲ 4.4	560	10.8	▲ 30.8
	粗大ごみ	991	18.3	923	17.1	908	16.8	▲ 8.2	▲ 1.8	1,025	19.8	8.2
	有害性ごみ	52	1.0	48	0.9	45	0.8	▲ 20.0	▲ 11.1	52	1.0	0.0
	小計(ごみ)	23,571	436.5	22,928	424.7	22,022	406.8	▲ 6.8	▲ 4.2	19,069	368.6	▲ 15.5
	資源	6,506	120.5	6,408	118.7	6,116	113.0	▲ 6.2	▲ 4.8	6,963	134.6	11.7
	合計(ごみ・資源)	30,077	557.0	29,336	543.4	28,138	519.8	▲ 6.7	▲ 4.3	26,032	503.2	▲ 9.7
持込ごみ (事業系)	可燃ごみ	6,473	119.9	6,593	122.1	6,345	117.2	▲ 2.3	▲ 4.0	5,257	101.6	▲ 15.2
	不燃ごみ	4	0.1	4	0.1	3	0.1	0.0	0.0	5	0.1	0.0
	粗大ごみ	570	10.6	419	7.8	460	8.5	▲ 19.8	9.0	801	15.5	46.2
	有害性ごみ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	小計(ごみ)	7,047	130.6	7,016	130.0	6,808	125.8	▲ 3.7	▲ 3.2	6,064	117.2	▲ 10.2
	資源	170	3.1	104	1.9	139	2.6	▲ 16.1	36.8	150	2.9	▲ 6.5
	合計(ごみ・資源)	7,217	133.7	7,120	131.9	6,947	128.4	▲ 4.0	▲ 2.7	6,214	120.1	▲ 10.1
ごみ量	30,617	567.1	29,944	554.7	28,830	532.6	▲ 6.1	▲ 4.0	25,133	485.9	▲ 14.3	
資源	6,676	123.6	6,512	120.6	6,255	115.6	▲ 6.5	▲ 4.1	7,113	137.5	11.2	
総ごみ量	37,293	690.7	36,456	675.3	35,085	648.2	▲ 6.2	▲ 4.0	32,246	623.4	▲ 9.7	

※総量端数切り上げ

※総量端数切り上げ

※総量端数切り上げ

基準人口(人) (各年10月1日)	147,922
----------------------	---------

147,770

147,904

141,699

2. 資源化率の推移

資源化率(%) *2	34.0
------------	------

34.1

32.0

38.2

3. 埋立量の推移

埋立量(t)	0
--------	---

0

0

0

*1 減量率とは令和3年度(基準年)に対する各年度の1人1日あたり排出量の増減率をいう。
 *2 資源化率=(資源量+資源集団回収量+清掃工場における資源回収量) / (総ごみ量+資源集団回収量)